



さいたま市

# 西区 火の用心

発行 お問い合わせ  
さいたま市西消防署  
西区西大宮3丁目48番地  
TEL 048-625-2861  
FAX 048-625-2818

西区内で火災が増えています。

西区内では火災が増えています。死者数とも増加しています。令和5年も3月までの時点で昨年を上回るペースで火災が発生し、特に住宅火災が多くなっています。火災が発生する原因の第1位は「放火（疑い含む）」続いて「たばこ」、「こんろ」、「配線器具」、「電気機器」の順で発生しており、住宅火災では、「こんろ」や「たばこ」などの火気の取り扱いの不注意や始末など失火による火災が増えていきます。「こんろ」を使うときは、火のそばを離れない、「たばこ」の吸殻は確実に消火し、寝たばこは絶対にしないようにしましょう。

こちらのコードから、「住宅防火の手引き」がご覧になれます。ぜひご自宅の防火対策にお役立てください。



		令和5年 3月まで	令和4年	令和3年
さいたま市火災件数		95	307	300
西 区 内	火災件数	13	32	29
	(うち住宅火災件数)	6	11	9
	火災による死者数	1	3	0

## ◆防火訪問にご協力をお願いします！

住宅火災の発生防止と火災による高齢者被害を軽減するため、消防職員が高齢者世帯を訪問し、防火指導を実施しています。令和4年度は、西区内24自治会の2,199世帯を訪問させていただきました。ご協力ありがとうございました。令和5年度は、事業開始から5年間で新たに65歳以上となった2,190世帯を計画しています。各地域の皆様よろしくお願いいたします。

火災予防に関する資料をポストに投函させていただきました。いたり、玄関先やインターホン等で口頭により防火の指導をさせていただきます。



## ◆住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器は煙や熱を感知し、警報や音声により知らせる機器です。さいたま市では平成21年6月からすべての住宅に設置が義務化されています。

●設置がまだの場合は、速やかに設置しましょう。

●設置されている場合は、定期的に点検しましょう。電池の寿命となる10年を目安に交換をしましょう。



救急車の適正利用にご協力をお願いします！

救急出場件数は急増しており、令和4年中は、さいたま市で過去最高の80,365件の出場があり、前年より21%の増加となりました。これは6分32秒に1回出場している計算となります。また救急搬送した人の55%が軽症と診断されています。

緊急性がない要請に対応している間、真に緊急を要する救急要請が発生すると、遠くの救急車が出場するため到着が遅れます。大切な命を守るために、救急車の適正利用にご理解・ご協力をお願いします。ただし、早く病院に行った方がいいと思った時は、迷わず119番通報で救急車を要請してください。どこの病院で診察してくれるかわからない場合や緊急の判断がつかない場合は、救急医療相談窓口を利用して下さい。

救急医療相談窓口

「救急車を呼びべきか？」  
「お医者さんに行くべきか？」  
迷ったら



- ① 埼玉県救急電話相談  
電話：(局番なし) #7119  
または、048-824-4199  
相談時間：24時間365日  
★自動音声案内が流れます  
1を押す 小児救急電話相談 (中学生まで)  
2を押す 大人の救急電話相談  
3を押す 医療機関案内 (小児・大人に対応)

- ② さいたま市救急受診ガイド  
パソコン、スマートフォンで  
さいたま市救急受診ガイド と検索  
URL : <http://triage.atris.com/triage/saitamacity>



消防団員を募集しています！

消防団員

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

主な活動は、火災等の災害現場活動の他、火災予防広報や消防訓練・応急手当の指導を行っています。

西区では、現在4消防分団(指扇・馬宮・馬宮西・植水) 総勢75名の消防団員が活動しており今後は「指扇地区」に1分団増強し、5消防分団体制となる予定で、さらなる増員を図っています。



入団資格：市内在住、在勤又は在学の18歳以上の健康な方

少年消防団員

少年消防団は、消防署で防火・防災に関する研修や訓練、消防出初式やイベントなどで火災予防広報を行っています。西区では現在19名が活動しています。ぜひ一緒に活動しましょう。

敬礼！ ピシッ！



みんな まってるよ！

入団資格：原則として市内在住又は在学の

小学4年生から高校3年生まで